

死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発 門田隆将 著(角川文庫)より

年 重要なシーン	月	日	時	福島第一原発 (1F)	東電・官邸	オフサイトセンターほか (福島第一原発から5km)
2011 地震発生	3	11	14:46	地震発生 マグニチュード9.0 震度7が2~3分続いた 緊急停止(スクラム) →ディーゼルエンジン(DG)起動 →冷却(ECCS)開始 →メインスチーム隔離弁(MSIV)閉		
津波発生 SBO		11	15:40	津波発生 DGトリップ(機能喪失)で交流電源が落ちた →全交流電源喪失(Station Black Out, SBO) *冷却装置について 一号機はイソコン(IC) …自然循環。交流電源喪失時も効果あるが、弁の制御に直流電源が必要 二号機と三号機は原子炉隔離時冷却系(RCIC) …原子炉の安全弁から出た蒸気で外から注水。安全弁は直流で動く(バッテリー最大8時間)		
		11	16:55	一号機を冷却するため、ICに必要な給水系の復旧を開始		
		11	17:19	一号機の消火ポンプが動くことを確認		
一号機 消火ポンプ バルブ開		11	18:30	消火ポンプを使った注水ライン作りに5人が向かった 手動で5つの弁(バルブ)を開ける		武藤(東電副社長)2Fに到着
一号機 炉心溶融		11	19:00	一号機の線量上昇 (燃料が壊れた)	官邸で原子力災害対策本部会が開かれた 班目(原子力安全委員長)が参加	
		11	20:00	一号機注水ライン確保 小型の発電機を計器につないで辛うじて数値を確認	枝野官房長官が「原子力緊急事態宣言」	武藤 1Fに到着 吉田に会った (20:30 - 23:30)
		11	21:00	※20:50~ディゼル駆動消火ポンプ で一号機に注水していたが 翌日1:48に機能停止、12日6:00 頃に一号機全燃料が炉心溶融(メル トダウン)	官邸に二号機のRCICが停止し ていると情報が入った	※実際は二号機はSBOの2分前に手 動でRCICを起動したおかげで3日間 炉心に水を注入し続けていた
避難指示		11	21:23		半径3km 避難指示 半径10km 屋内避難指示	直流電源の残っていた三号機も2日 間注水が継続していた
		11	23:00			郡山駐屯地から電源車出発
一号機 圧力上昇	3	12	0:00	一号機格納容器圧が600kpaに(設定値の1.5倍)		武藤 オフサイトセンター入り
			0:06	吉田所長がベントの準備を指示		池田(経産副大臣) 原子力センター入り
		12	2:30			福島駐屯地から陸自消防車2台 出発
				一号機に郡山駐屯地の電源車接続		
ベントの 人選		12	3:06	ベントのため誰が原子炉建屋に 突入するか、人選が始まった	海江田経産大臣 ベントについ て記者会見	池田は原子力センターからオフ サイトセンターへ移動
一号機 海水注入		12	4:00	三号機の逆洗弁ピットに溜まっていた海水を1Fの消防車(3台の うち1台しか動かなかった)で一号機に注水		池田や武藤に総理が来ると連絡 が入った
		12	5:00	総理が来ると聞き、吉田所長が 本店と喧嘩	班目に「総理と福島へ行け」と指示あり 総理は、官邸を留守にするので枝野に「全権委任」	
		12	6:14		総理を乗せた陸自ヘリ出発 機内で「俺の質問だけに答えろ！」と班目の説明を遮った	

	12	6:50	富岡町に避難指示	海江田大臣「ベント実施命令」	
菅総理 到着	12	7:00	陸自消防車2台が1Fに到着		
			総理が1Fグラウンドに到着、まず写真撮影 現場に労いの言葉一切なく、周囲に怒鳴り散らした		
	12	7:42	菅「早くベントしろ」 吉田「決死隊をつくってやっています」 菅「……」		
	12	8:04	総理一行は震災現場の視察のため宮城方面へ出立		
一号機 ベント開始	12	9:00	陸自消防車を加えた注水活動 →四号機貯水槽から消防車3台経由で 一号機 へ注水 (~14:00)		
	12	9:02	富岡町全住民の避難確認		
	12	9:04	一号機 のベント開始 フィード・アンド・ブリード（注水しながらベント）		
	12	9:15	第一陣が MO弁 を開けた 第二陣は AO弁 を開けられなかった (にもかかわらず、第一陣の4倍以上被曝した)	*MO弁は格納容器の壁の外 AO弁は壁の内側でサブチャンの上にあるため放射線量大	
			AO弁 開のリトライ 外から：コンプレッサーの空気圧で遠隔操作試み 内から：再突入もスタック（排気筒）から白い煙あり中止 →外からの空気圧で弁が作動したことがわかった	サブチャン=サブプレッションチャンパー（圧力制御室）	
一号機 ベント成功		11:36	三号機 のRCIC停止		
	12	14:00	1F周辺でセシウムを検出、すなわち 一号機 ベント成功 →富岡町災害対策本部も避難		
一号機 爆発	12	15:36	一号機 原子炉建屋が水素爆発 (リアクタービル)		
三号機 海水注入			伊沢は若い運転員を 中操 （中央制御室）から待避させた →残ったメンバーで記念撮影		
	12	19:00	津波で溜まった海水を 三号機 に注入開始	武黒「官邸がグジグジ言っているから海水注入を止めろ！」	
			吉田所長「海水注入をやめるな」と指示	本店「海水注入をストップしてください」	
三号機 注水停止	3	13	中操 は5人ずつの交代制に 伊沢は一旦 免振重要棟 へ		
		2:42	安全弁が開かず 三号機 の注水が停止		
	三号機 炉心溶融		5:30	三号機 の炉心溶融開始	
		8:41	三号機 のベント成功したが、十分に水位が上がらない		
三号機 爆発	3	14	11:01	三号機 が水素爆発 消防車が壊れて冷却系停止	
二号機 注水停止		14	13:00	幸い消防車2台無事だった	
		13:25	二号機 の注水が停止		
二号機 圧力上昇	14	15:30	三号機 に海水注入再開 三号機 の爆発で 二号機 の AO弁 が閉じ炉内圧力上昇 →中の圧力が高く消防車を通じた海水が入らない 「完全に炉心棒が露出している」最大の危機		

	14	18:02	二号機「減圧開始」で水が入り始めた（天の助け） ※ブローアウトパネル脱落？建屋に穴があいて水蒸気放出 二号機から放出された放射能が最も高かった	
	14	21:35	二号機の格納容器圧力が再び上昇	
	14	23:46	二号機の格納容器圧力が設定圧力の二倍に	
吉田 座り込む	3	15	2:00	班目は官邸に呼ばれた 海江田と枝野から「東電は全員撤退といっているがどう思うか」と聞かれた 清水（東電社長）が「必要な人間を除いて」と言わなかったので海江田と枝野は「全員撤退」と勘違いしたらしい
		15	3:00	ソファで寝ていた管は起こされて「1Fと2F全ての原発とプールがアウトになったら、半径250km、5千万人が待避」と聞かされた
		15	4:00	清水社長が官邸に呼ばれて「全員撤退など考えていません」 東電本店に政府と東電の「統合本部」を設置
吉田 ズボン下げ		未明	吉田所長は椅子から降りて胡坐をかいて座り込んだ それを見て、誰もが「最後だ」と思った 吉田は「誰と一緒に死んでもらうか」考えていた	
	3	15	5:30	東電に菅総理が到着、テレビ会議が始まる 1F、2F、オフサイトセンター、刈羽原発を中継 管「逃げてみたって逃げられないぞ！」と言う 吉田「何言ってるんだこいつ」 総理に向けてズボンを下した
四号機 爆発 職員待避		15	6:00過ぎ	二号機が爆発（あとで四号機と判明） サブチャンに穴があいて圧力がゼロになった 必要最小限の人間以外2Fへ待避、免震棟に69人が残った 便器が血尿で真っ赤だった ※実際、この時に爆発したのは四号機で、二号機は圧力計が故障したと推定されている（映像なし） 四号機は点検中で炉に燃料はなかったが、三号機と排気筒を共有していたため三号機の水素が漏れて爆発した 二号機格納容器内圧力は7:25には高いままで、11:25に圧力低下が確認された（この間に格納容器が破損したと考えられる） 三号機と四号機のプールが、爆発のショックで損傷している可能性があった 「とにかく水を入れる」には多くの人手が必要だった ※四号機は使用済燃料プールがむき出しになったが、実際には水が残っていて核燃料の冠水が継続していた
職員 1Fへ戻る	3	16		2F体育館から、1Fに次々と人が戻って来た 午後 自衛隊に再び支援要請（空中および地上から放水）
	3	17	3:00	茨城から空自消防車2台出発
陸自ヘリ 放水		17	9:00	陸自の大型輸送ヘリが1Fに向けて飛び立った
		17	9:48	陸自ヘリ仙台沖で海から取水（最大7.5t）
		17	18:30	陸自ヘリ高度90mから三号機建屋に放水 茨城空自・木更津陸自消防車が1Fに到着

空自 消防車 放水			<p>三号機に空自・陸自消防車放水、効果あり 原子炉の温度が上がれば放水の繰り返し、21日まで続いた</p> <p>※7月まで注水または放水（のちに淡水を使用） 7月上旬から放射性物質を除いた循環水冷却に移行</p>	
	11	16	吉田所長が食道がんstageⅢと診断された	
	12	1	<p>吉田所長 辞職</p> <p>※吉田は本店の原子力・立地本部事務委嘱の執行役員に異動</p> <p>※12月16日政府は「発電所の事故そのものは収束」とし原子炉の冷温停止を宣言 しかし、福島県知事は「事故は収束していない」と反発した</p>	
2012	2	7		吉田 食道がんOP
	7	26		門田隆将 取材
				吉田 脳出血OP
2013				
吉田死去	7	9		吉田 死去（享年58歳）